

科目名		授業形態	担当教員名	
生理学Ⅲ		講義	酒巻 直美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
理学療法において、運動に対する生理反応を理解することは極めて重要である。本講義では、解剖学ⅠⅡ、生理学ⅠⅡで学んだ内容を基礎として、運動に対する生理反応を中心に学習を行う。特に神経系、筋活動、循環系、代謝系における生理反応の基本的知識を習得することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 解剖学ⅠⅡ、生理学ⅠⅡで学んだ内容を基礎として説明することができる。 2. 運動における神経系、筋活動、循環系、呼吸系、代謝系の生理反応を説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	運動と神経系(1) 神経系基礎			
2	運動と神経系(2)			
3	運動と筋活動(1) 運動と骨格筋・筋収縮のメカニズム			
4	運動と筋活動(2) 運動単位・筋収縮の種類と張力曲線			
5	運動と筋活動(3) 運動とエネルギー代謝			
6	運動と神経系、筋活動まとめ			
7	運動と循環系(1) 循環系基礎			
8	運動と循環系(2) 運動と循環反応			
9	運動と循環系(3) 運動と循環反応			
10	運動と呼吸系(1) 呼吸系基礎			
11	運動と呼吸系(2) 運動と呼吸応答			
12	運動と循環系、呼吸系まとめ			
13	運動と代謝			
14	運動と代謝 体温調節			
15	解説 まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	85%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点	5%	授業態度（忘れ物・居眠りなど）		
その他	10%	課題の実施と提出状況（提出期限・方法の厳守）を評価する		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載	随時プリントを配布する（ファイルしておくこと）			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
からだの構造と機能	A. シェフラー他		西村書店	
リハビリテーション運動生理学	玉木彰・解良武士		メジカルビュー社	
自由記載	「からだの構造と機能」、解剖学講義ノート、生理学ⅠⅡの講義ノート等を持参すること			
備考				
解剖学ⅠⅡ、生理学ⅠⅡで学習した内容を復習し受講すること				